# 生活科の学びのプロセスと育成すべき資質・能力の関係（案）

平成２８年６月１７日
生活・総合的な学習の時間WG
資料２－４

**生活科の特質に応じて育まれる見方・考え方（イメージ・案）**

身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、
比較、分類、関連づけ、試行、予測、工夫することなどを通して、自分自身や自分の生活について考えること

**思いや願いをもつ** → **活動や体験をする** → **感じる・考える** → **表現する・行為する** → **思いや願いをもつ**

## 思考力・判断力・表現力等

■対象に関心を持つ
■身体全体で対象と関わる
■自ら対象に働きかける

■比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える
■違いに気付いたり、よさを生かしたりして他者と関わり合う
■試したり、見立てたり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す

■伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する
■生活に生かしたり、生活を豊かにしたりする

## 学びに向かう力・人間性等

探究心　他者尊重　地域への愛着　適切な関わり　公共　安全　（主に人や社会との関わり）

好奇心　自然との触れ合い　感性　生命尊重　創造　（主に自然との関わり）

意欲　自信　成長　自分らしさ　感謝　（主に自分自身）

## 個別の知識・技能

人、社会、自然に対する個別的な気付き
（例：学校生活を支えている人々がいること、季節によって生活の様子が変わること など）

→

人、社会・自然に対する関係的な気付き
（例：空間の中でつながり関わっていること、きまりや一定の変化があること など）

→

自分自身への気付き
（例：自分自身が成長したこと、役割が増えたこと など）

具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能（例：生活のリズム・病気の予防・ルール・マナー、道具を使って物を作る・動植物の世話ができる など）